

令和8年度大垣市スポーツ推進審議会 会議録

日 時	令和8年8月19日（水）17時00分～18時40分
場 所	大垣市役所6階 6-3、6-4会議室
次 第	1 開会のことば 2 教育長あいさつ 3 会長の選任 4 会長あいさつ 5 議事 (1) 令和7年度スポーツ推進事業実績について (2) 令和8年度スポーツ推進事業計画について (3) 大垣市第2次教育振興基本計画(スポーツ分野)の進捗状況について 6 報告事項 大垣市部活動地域展開 進捗状況について 7 その他 8 閉会のことば
出席者	委員11名、事務局7名 計16名 ・大垣市スポーツ推進審議会委員（敬称略） 河合保孝、高橋正紀、水野哲也、森本浩一、川瀬尚志、川合麻美 山口敏文、都竹直孝、臼井好美、田邊麻紗子、高木有貴 ・オブザーバー 関琢磨 ・事務局 細江敦（教育長）、馬淵義昭（教育委員会事務局長）、 洞口直樹（社会教育スポーツ課長）、松永健一郎（同課参事）、 細野雄樹（学校教育課兼社会教育スポーツ課参事）、 渡邊英佑（社会教育スポーツ課主幹）、大橋みの里（同課主査）
欠席者	委員1名 ・大垣市スポーツ推進審議会委員（敬称略） 平松哲
傍聴者	なし
事務局	1 開会のことば（略）※議事以外の司会進行
教育長	2 教育長あいさつ（略）

事務局	3 会長の選任 (大垣市附属機関設置条例第5条第2項)
委員	会長には河合委員を推薦いたします。
各委員	異議なし。
事務局	※ 会長に河合が選出されたことを報告。
会長	4 会長あいさつ (略)
会長	5 議事 ・出席委員数及び審議会成立の報告 (大垣市附属機関設置条例第6条第2項) ・傍聴者の報告 ※傍聴者なし ・議事進行 (大垣市附属機関設置条例第5条第3項)
会長	『議事(1) 令和7年度スポーツ推進事業実績について』事務局から説明をお願いします。
事務局	※ 『議事(1) 令和7年度スポーツ推進事業実績について』(資料1) を説明
会長	議事(1)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
会長	議事(1)について、目的がスポーツの推進であるところ、既に実施された実績を今から変えることはできませんが、この実績に対する検証はどのように行われているのでしょうか。例えば、前年度実績と比較してスポーツ推進の目的に少しでも近づいているのかといった検証はなされているのでしょうか。

事務局	毎年同様の事業を実施しておりますが、実績報告や決算の中で数値の比較は把握しております。例えば、少年スポーツ事業の件数減少等の要因についても検証を行い、可能な取り組みは実施してまいりました。しかし、スポーツ推進そのものに関する深い検証については十分でなかった点もございましたので、今後は前年踏襲にとどまらず、スポーツ推進に結びつく内容となるよう取り組んでまいりたいと考えております。
委員	関連して伺いますが、コミュニティスポーツ振興事業に約900万円余りが執行されていますが、単なる決算上の数字だけでなく、参加者へのアンケート等を実施し、その声や受け止め方を次の事業に反映させるような検証は行われているのでしょうか。単に補助金を交付するだけでなく、参加者がどのような思いを持たれたのかを把握することが重要ではないかと思います。
事務局	ご指摘のとおり、PDCAサイクルに基づき、前年度の事業をどう次年度に生かすかが重要です。大垣市第2期教育振興基本計画に基づき、各スポーツ分野の事業展開について検証を行っており、先日も審査会で自己評価と総合評価を実施していただきました。数値だけでなく、参加者の満足度等も評価指標に入れながら、事業のあり方を確認し、次年度に向けて取り組んでいるところでございます。
会長	ただお金を支出したというだけでは、スポーツの推進につながりません。7億3,500万円もの多額の予算がどのように使われ、本来の目的に対してどのような効果があったのか、その検証が不可欠です。 委員が言われたように、アンケートを実施するなどして、実際に体験された方々の満足度を調査することが極めて大切であると考えます。多額の予算額や前年度比較だけでなく、こうした満足度調査等も取り入れなければ、スポーツ推進の本来の姿が見えなくなってしまいますので、ぜひお願いしたいと思います。 他に意見等がないようですので、次の議事に移ります。

会長	『議事(2) 令和8年度スポーツ推進事業計画について』事務局から説明をお願いします。
事務局	※ 『議事(2) 令和8年度スポーツ推進事業計画について』(資料2) を説明
会長	議事(2)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
委員	昨今の酷暑日において、野外で活動するスポーツ少年団等の練習は、熱中症の危険が高くほとんど活動できない状況にある。夜間への時間帯移行を考えても、ナイター設備等の環境が十分とは言えず、子どもたちは輻射熱の影響も受けやすいため、照明設備のある学校グラウンドの開放など、具体的な対策をもっと考えていただきたい。 ラグビー等でも熱中症による重大な事故や活動禁止の基準が示されており、夏季の活動は非常に制限されている。時間帯の変更等に伴う施設利用の面も含めご配慮をお願いしたい。 また、市民プール等についても、夏季に家族連れらが日陰で休憩できる場所が非常に少なく、駐車場等の整備が進む一方で、プールサイド周辺における日よけ設備の拡充など、実際に利用した実感からもぜひ検討していただきたい。
事務局	市内の小中学校体育館への空調（エアコン）設置を進めており、熱中症対策としての利用も可能となっております。サッカーや野球などの屋外競技の少年団においても、熱中症の影響で屋外活動が困難なため、空調のついた小学校体育館を利用する傾向が増えております。 昨今の酷暑を踏まえ、子どもたちが活動できる環境づくりは重要であると考えております。社会教育スポーツ課での学校施設開放の調整にあたっては、中学校部活動の地域展開とも関連させながら、地域の子どもたちの活動を優先的に調整するよう働きかけているところでございます。

	また、プールの暑さ対策についても、昨年の開場前に体育連盟等とも協議し、日よけエリアの拡充やプールサイドへの散水等による環境改善を検討いたしました。敷地上の制限等もごさいますが、最大限の設置に努めており、特に小さなお子様が多く利用される三城プールにおいては、今年度からプールサイド一帯に常時散水ができるホース等の設備を独自に整備し、路面の温度上昇を抑える対策を講じております。 このように、酷暑の中でも子どもたちが安全に運動する機会をしっかりと確保できるよう、今後も考えてまいります。
会長	今のご意見は、安全・安心な環境づくりの観点に関するものであり、それはスポーツ以前の、あって当然の前提である。予算の大部分が施設の維持管理費等に割かれており、純粋なスポーツ推進のための事業や予算の割合が非常に小さくなっているように感じる。維持管理はもちろん必要だが、推進に向けた施策や予算の拡充をぜひお願いしたい。
委員	予算の大部分が施設の維持管理費等に割かれており、純粋な「スポーツ推進」のための予算割合が少ないように感じる。維持管理は当然必要だがその割合を見直してほしい。また、国際スポーツ交流事業の回数表記や、体育施設営繕事業における超音波風速計の記載について重複や誤りがあるのではないか。
事務局	施設の老朽化に伴う改修費用がどうしても多額になるため、施設整備が優先となってしまっている点についてご理解いただきたい。ソフト事業等については基本計画に沿って取り組んでいく。 ※ 資料の記載誤り（公園施設の風速計記載など）について、事務局より訂正・削除の旨が説明された。
会長	このスポーツ推進審議会はすでに議会等で決まった予算に対する報告・審議の場という側面もあるが、いただいた貴重なご意

	見は今後の補正予算や次年度以降の施策、事業の改良改善にしっかりと反映させていただきたい。
委員	小学校中学校への体育館空調の設置状況はどうなっているか。
事務局	令和7年度に10校で先行して導入し、今年度に残りの小学校、令和9年度中学校に設置し、完了させる予定であり計画的に進めている。工事期間中の利用制限については他の中学校を共同利用していただくなどの調整を図りながら進めている。
会長	『議事(3) 大垣市第2次教育振興基本計画(スポーツ分野)の進捗状況について』事務局から説明をお願いします。
事務局	※ 『議事(3) 大垣市第2次教育振興基本計画(スポーツ分野)の進捗状況について』(資料3)を説明
会長	議事(3)について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問はございませんでしょうか。
委員	スポーツ少年団やキッズスポーツ教室の指標について、参加率が高く見えても、参加意欲のある限定された分母に対する数字であり、実際のスポーツ人口や少年団の加入率(U-12の入団率17%など)は減少している。もっと広く子どもたちがスポーツに触れる機会や、大会等の明確な目標を持てるような仕組みづくりが必要ではないか。
教育長	運動嫌いの子どもを運動好きにさせるためのプログラム研修への参加など、新たなアプローチの導入に向けた調整を行っている。また、キッズスポーツ教室等の数値(444人)は、少子化が進む中でも子どもたちが体を動かす機会を絶対に減らさないという最低限の指標として設定し、維持・努力しているものである。

会長	データの取り方によって見せ方が変わるため、分母や実態を正しく捉える必要がある。さらに、中学校の部活動の地域移行や、全国中学校体育大会（全中）での一部競技除外などの影響により、子どもたちの目標が失われつつある。大垣市独自で大会を開催するなど、目標を持ってスポーツに挑戦できる環境づくりを検討してほしい。県スポーツ総合1位の維持も含め、しっかりと対応をお願いしたい。
オブザーバー	女子のスポーツ参加者が少ない種目があるなど、男女差が見受けられる。受け皿が少ない種目もあるため、細かい実態分析を行い、誰もが平等に参加できる環境や指標の検討を進めてほしい。
事務局	競技や団体ごとの女子の受け皿の状況等については十分に把握できていない部分もあるため、現状をしっかりと把握し、今後の取り組みに生かしていきたい。
会長	水泳等の競技でも女子の参加者が減っている一方、ダンスやよさこいなどには多くの女性が参加している。決して体を動かすことが嫌いなわけではないため、女子が参加しやすいスポーツの推進や政策が求められる。
委員	学校の体育の授業でスポーツ嫌いになってしまうケースもある。社会教育スポーツ課だけでなく学校教育課とも連携し、体育の授業を通じていかに「スポーツ好き」を増やすか、大垣市独自の取り組みや指導者の研修などを行えないか。
教育長	大垣市として、心と体のバランスを大事にする健康づくりの指定校制度を新たに設けるなど、学校現場での体づくりや仲間づくり、自ら挑戦する力の育成に向けた取り組みをスタートさせたところである。

会長	貴重なご意見ありがとうございました。第3号議案については以上といたします。すべての議事が終了しましたので、続いて報告事項に移ります。
事務局	6 報告事項 報告事項「大垣市部活動地域展開 進捗状況について」事務局から説明いたします。 ※ 「大垣市部活動地域展開 進捗状況について」を説明
会長	ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問はございませんでしょうか。
委員	地域クラブの移行が進む中、実際に活動している生徒や保護者への意識調査や実態調査は行われているか。スポーツ離れが起きていないか検証するためにも調査が必要である。また、少年団と地域クラブの円滑な連携や、社会人指導者が勝利至上主義に偏らず、子どもを育てる指導を行えるような指導者育成・養成についての考えは。
事務局	生徒や保護者への意識調査の必要性や、社会人指導者が学校教育の観点（子どもへの関わり方など）を持つための研修や指導方法について、今後の検討委員会等で模索・検討していきたい。また、少年団と地域クラブの連携についても引き続き推進していきたい。
事務局	7 その他 その他、全体を通じてご意見等はございますか。 ※ 特になし なお、審議会の開催時間（夕方からの実施）についての意見聴取は、別途機会を設けて確認することとする。

事務局	8 閉会のことば 委員の皆様には、長時間にわたり熱心にご審議いただき誠にありがとうございました。いただいた貴重なご意見を踏まえ、今後のスポーツ推進事業に取り組んでまいります。これをもちまして、「令和8年度大垣市スポーツ推進審議会」を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。
-----	--

前記のとおり、相違のないことを証するため署名捺印する。

令和8年9月4日

議長 河合 保孝 ㊟

本会議録の作成に係る職務を行った者

社会教育スポーツ課 洞口 直樹 ㊟

捺印されている原本は、大垣市スポーツ推進審議会事務局（社会教育スポーツ課）で保管しております。